(4)

就職指導マニュアル

SCAでは通常のカリキュラムを通し、業界の研究や就職の意識づけを行い、さまざまなイベント、コンペ、企業プロジェクトなどで業界との接点を常に持ち社会人としての心構えを指導しています。さらに、就職出陣式をはじめ就職集中対策セミナー・カウンセリング等で就職活動の技術を指導しています。

このようなプログラムの中に学生達の就職活動を強力にサポートするインターンシップシステムがあります。インターンシップシステムは、学生が業界を通して本校の建学の理念である実学教育を体験し、本校で学んだことを実践します。さらに将来目指す職業を明確にし、就職意識を確立させるための実習です。

これは卒業年度の学生達が目指す業界の企業（またはそれに準ずる組織・個人）で約1ヶ月現場の実習を行うものです。

在学中に「企業で働く」ことの意識を知識としてではなく、実体験として認識させることは就職を控えた学生にとって大きな効用をもたらします。

通常授業のなかで学生は、各々の専門分野を学んでいるわけですが、そうして習得した技能のなかで、まずは「社会人」たる人間性を備えていて初めて発揮させてもらえるのであるという企業社会の厳しさを学びとることができます。

一方、この制度は企業に対して十分な信頼がなければ実現できるものではありませんので、本校スタッフ全員が協力企業へのフォローアップに努めます。

また、研修中の心構えも学生に指導しなければなりません。
すなわち学生と企業双方へのコミュニケーションをとることになり、これが他校の就職指導との大きな差異になるものと考えます。